

鎮西学院大学学則

第一章	目的
第二章	自己評価等
第三章	組織
第四章	職員組織
第五章	教授会、大学運営委員会等
第六章	学年、学期及び休業日
第七章	修業年限及び在学年限
第八章	入学
第九章	教育課程、履修方法等
第十章	休学、転学、留学、退学及び除籍
第十一章	卒業及び学位
第十二章	科目等履修生、研究生、特別聴講生及び外国人留学生
第十三章	入学検定料、入学料、授業料等
第十四章	賞罰
第十五章	大学開放及び生涯学習事業
第十六章	雑則

第一章 目的

(目 的)

第一条 鎮西学院大学(以下「本学」という)はキリスト教の信仰から生まれる価値観を基盤とし、倫理性の高い、優れた教養と専門的知識・技術を有する国際的に有為な社会人を育成し、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

第二章 自己評価及び第三者評価等

(自己点検・評価)

第二条 本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学に自己点検・評価を行うため、鎮西学院大学自己点検・評価委員会を置く。

3 自己点検・評価に関する必要な事項は別に定める。

(第三者評価)

第三条 本学は、前条の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者(以下「認証評価機関」という。)による評価

(以下「認証評価」という。)を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であって、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

2 前項の認証評価は、認証評価機関が定める標記基準に従って行なうものとする。

(外部評価委員会の設置)

第四条 本学は、前条の点検及び評価の結果について、本学の職員以外のものによる検証を行うため、鎮西学院大学評価協議会を置く。

2 鎮西学院大学評価協議会に関する必要な事項は別に定める。

(情報の積極的な公開)

第五条 本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章 組織

(学部、学科、教育研究上の目的、入学定員及び収容定員)

第六条 第一条の大学の目的を実現するため、現代社会学部を置き、福祉コミュニティの形成と持続的発展を目指し、その中核となる人間を育成するため、グローバルな視点とローカルな視点を同時に持つことのできる複眼的思考能力と、福祉コミュニティの形成と持続的発展に必要な専門的能力を養成する。

2 前項の学部の目的を達成するため、次の学科を置く。

- (1) 社会福祉学科
- (2) 外国語学科
- (3) 経済政策学科

3 前項の学科における教育研究上の目的は次の通りとする。

- (1) 社会福祉学科は、コミュニティにおける生活の質の全体的向上をめざすという広い視点に立ち、かつ福祉のグローバル化に対応する能力を備えて、福祉・医療・保健・教育・文化のネットワークの中で、福祉援助業務に従事することのできる人材を育成する。
- (2) 外国語学科は、経済開発・経済協力等の国際地域協力・グローバルビジネスから文化交流まで、国際的に広がりを持つコミュニティの持続的発展に必要な諸分野で、高い語学運用能力と総合的なコミュニケーション能力により、多文化共生社会の担い手となる人材を育成する。
- (3) 経済政策学科は、経済政策と地域経営に関わる教育研究を通じ、国内外を問わず、生活密着型の地域経済社会や住民参加型地域づくりといった幅広い分野において、社会性の高い地域課題の解決を事業として取り組むことのできる問題解決能力と総合的なコミュニケーション能力を有したエンプロイアビリティの高い人材を育成することを目的とする。

4 前項の学科の学生定員は、次の表に定めるところによる。

学 科	入 学 定 員	3 年 次 編 入 学 定 員	収 容 定 員
社会福祉学科	50 人	3 人	206 人
外国語学科	40 人	2 人	164 人
経済政策学科	50 人	5 人	210 人
計	140 人	10 人	580 人

- 5 学生の社会的・職業的自立に向けたキャリア形成とともに各学科の専門分野・領域における基盤となる汎用的な知識・技術の修得を目的とした基盤教育を円滑に運営するため、基盤教育センターを置く。
- 6 外国人留学生対象の日本語教育に関するプログラムを円滑に運営するため、日本語教育センターを置く。

（学生の社会的・職業的自立に関する指導・支援体制等）

第七条 第一条の大学の目的、第六条の学部及び学科の教育上の目的に応じ、学生が自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、学内の教職員・組織間の有機的な連携により、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、教務委員会、教職課程運営委員会、学生委員会及びキャリア支援センターを置く。

- 2 教務委員会は、本学の教育上の目的をふまえた教育課程の体系的な編成及び教授方法の工夫・開発、学修及び授業の支援、単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究等の実施に関する業務を司る。
- 3 教職課程運営委員会は、本学の教育職員免許状の所要資格を取得するための課程の円滑な運営に関する業務を司る。
- 4 学生委員会は、本学学生の学生生活の安定のための支援・厚生補導に関する業務を司る。
- 5 キャリア支援センターは、教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する本学学生への指導・支援に関する業務を司る。
- 6 教務委員会、教職課程運営委員会、学生委員会、キャリア支援センターに関する必要な事項は別に定める。

第八条 本学に、学生募集、入学試験及び高大連携事業並びに広報等に関する管理運営組織として、アドミッションセンターを置く。

- 2 アドミッションセンターに、専門的事項を審議するため、入学試験作問委員会、特待生選考委員会、高大連携教育室、ホームページ運営委員会を置く。
- 3 アドミッションセンター及び前項に定める委員会・センターに関する必要な事項は別に定める。

第九条 本学に、本学の国際交流プログラムの推進に関する専門的事項を審議するため、国際交流委員会を置く。

2 国際交流委員会に関する必要な事項は別に定める。

第十条 本学に次の組織及び附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 地域総合研究所
- (3) 宗教センター
- (4) 地域・産学連携推進センター

2 前項の組織及び附属施設に必要な事項は別に定める。

第四章 職員組織

(職員)

第十一条 本学に、学長、宗教主事、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。

2 学長が必要と認めた場合には学長補佐及び副学長を置くことができる。

3 学長は、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員(教員(非常勤講師含む)及び事務局職員)に必要な知識及び技能を修得させ、その能力及び資質を向上させることを目的として、研修の機会を設けるものとする。

(各組織の長及びその職務)

第十二条 本学に、学長のほか、宗教主事、事務局長、学部長、学科長、基盤教育センター長、日本語教育センター長、教務委員長、学生委員長、キャリア支援センター長、アドミッションセンター長、国際交流委員長、附属図書館長、地域総合研究所長及び地域・産学連携推進センター長を置く。

2 学長は本学の最高責任者として、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 宗教主事は、本学のキリスト教教育の任に当る。

4 学長補佐及び副学長は学長を補佐し、特命された校務に関する事項を掌理する。

5 事務局長は、事務局の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 学部長は、本学の教授をもって充て、学部の教育研究に関する事項を掌理する。

7 学科長は、現代社会学部の各学科に置き、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け各学科の運営に関する連絡調整を行なう。

8 基盤教育センター長は、本学の専任教員をもって充て、学部長の命を受け基盤教育の運営に関する連絡調整を行なう。

9 日本語教育センター長は、本学の専任教員をもって充て、学部長の命を受け日本語教育に関するプログラムの運営に必要な連絡調整を行なう。

10 教務委員長は、本学の専任教員をもって充て、学部長の命を受け、第7条第2項に関する事項を掌理する。

- 1 1 学生委員長は、本学の専任教員をもって充て、学部長の命を受け、第7条第3項に関する事項を掌理する。
- 1 2 キャリア支援センター長は、本学の専任教員をもって充て、学部長の命を受け、第7条第4項に関する事項を掌理する。
- 1 3 アドミッションセンター長は、本学の教授を持って充て、学生募集活動、入学試験及び高大連携プログラムの運営並びに大学広報に関する事項を掌理する。
- 1 4 国際交流委員長は本学の教員をもって充て、第九条に関する事項に必要な連絡調整を行う。
- 1 5 附属図書館長は、本学の教授をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。
- 1 6 地域総合研究所長は、本学の教授をもって充て、地域総合研究所の活動に関する事項を掌理する。
- 1 7 地域・産学連携推進センター長は、本学の教員をもって充て、本学の地域連携の推進に関する事項を掌理する。
- 1 8 第3項から第17項までに規定する者の選考、任期その他の必要な事項については学長が別に定める。

第五章 教授会、大学運営委員会等

(教授会)

第十三条 本学に、教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、審議を行うものとする。

- 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
- 二 学位の授与
- 三 退学、転学、留学、休学、除籍その他学生の身分
- 四 前三号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの

3 教授会は、前項に定めるもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 教授会は学長、教授、准教授、専任講師、助教及び事務局長をもって組織する。

5 第2項から第4項に定めるもののほか、教授会に関する必要な事項は別に定める。

(専門委員会)

第十四条 本学に、学長の付託を受けて専門的事項を審議するため、専門委員会を次のように置く。

- (1) 本学の学術研究の振興のための管理運営組織として、学術研究会議を置く。
- (2) コンピュータネットワークに関する専門的事項を審議するためネットワーク管理委員会を置く。
- (3) 教員の人事に関する専門的事項を審議するため教員人事・評価委員会を置く。

2 前項各号の委員会の構成員及び運営に関する必要な事項は別に定める。

(大学運営委員会)

第十五条 本学の管理運営に関する重要な事項を審議するため、大学運営委員会を置く。

2 大学運営委員会に関する必要な事項は別に定める。

第六章 学年、学期及び休業日

(学年)

第十六条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第十七条 学年を次の2学期にわけるとする。

(1) 前期 4月1日～9月30日

(2) 後期 10月1日～3月31日

2 学長は第1項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、各学期の始期又は終期を変更することができる。

(休業日)

第十八条 休業日は次のとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号第3条)に規定する休日

(3) 学院創立記念日 10月23日

(4) 春期休業日 3月21日～3月31日

(5) 夏期休業日 8月1日～9月30日

(6) 冬期休業日 12月25日～1月7日

2 学長は第1項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第七章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第十九条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第二十条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第二十六条、第二十七条、第二十八条の規定により入学した学生は、第二十九条の規定により定められた在学すべき年数の二倍に相当する期間を超えて在学することができない。

第八章 入学

(入学の時期)

第二十一条 入学の時期は学年の始めとする。

2 ただし、第二十六条から第二十八条までの規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

(入学資格)

第二十二条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (9) 前各号に定める者の他、本学において個別の入学資格審査により認めた18歳以上の者

(入学の出願)

第二十三条 本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、本学所定の書類に入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

(入学者の選考)

第二十四条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

2 選考による合格者の決定は、教授会の議を経て学長が行う。

(入学手続き及び入学許可)

第二十五条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

3 前項の規定により入学を許可された者が、入学を辞退しようとする場合は、大学の定める期日までに申し出なければならない。

(編入学)

第二十六条 本学の第3年次に編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 学士の学位を有する者

(2) 短期大学及び高等専門学校を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程(修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

(転入学及び転学科)

第二十七条 本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

第二十七条の二 本学に入学した者で、他の学科に転学科を志願する者があるときは、当該転学科先の学科の欠員のある場合に限り、選考の上、各学期の始めに転学科を許可することができる。ただし、転学科を許可する回数は1回とし、その時期は、1年次後期から3年次に進級する学期の始めまでとする。

(再入学)

第二十八条 本学に再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第二十九条 第二十六条、第二十七条及び第二十八条の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第二十九条の二 第二十七条の二の規定により転学科を許可された者の既に修得した授業科目数及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第九章 教育課程、履修方法等

(教育課程)

第三十条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、こ

れを各年次に配当して編成するものとする。

2 授業科目の種類及び単位数等は別表第 1 のとおりとする。

第三十条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行なうものとする。

3 前項の授業は、文部科学大臣の別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室等以外の場所で履修させることができる。

4 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

第三十条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位の計算方法)

第三十一条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については 15 時間、演習については 30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習については 30 時間、実技については 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

(3) 講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により授業を行う場合、その組み合わせに応じ、前 2 号の基準を考慮して 15 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

なお、各方法の授業時間数は、前 2 号の規定する基準に対する 1 単位当たりの標準学修時間の割合を各授業時間数に乗じた総和が 45 となるように定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育効果を考慮して特に必要がある場合は、前項第 1 号の講義及び演習については 15 時間から 30 時間の範囲で、前項第 2 号の実験、実習及び実技については 30 時間から 45 時間の範囲で、授業時間を定めることができる。

ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、この限りではない。

3 前 2 項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(一年間の授業期間)

第三十二条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め 35 週とすることを原則とする。

(単位の授与)

第三十三条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第三十四条 成績の評価は 100 点満点とし、AA(100 点～90 点)、A(89 点～80 点)、B(79 点

～70 点)、C(69 点～60 点)、D(59 点以下)の評語をもって表し、A、B及びCを合格とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

- 第三十五条 学長が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により取得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定は、本学の学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

- 第三十六条 学長が教育上有益と認めるときは、本学の学生が他の短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修と見なし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第三十七条 学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学又は短期大学において科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学における入学した後の授業科目の履修により修得したものと見なすことができる。
- 2 学長は教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第二十六条の編入学、第二十七条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第三十五条第1項及び第2項並びに第三十六条第1項により本学において履修したものとみなす単位と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(教育職員免許状の所要資格を取得するための課程)

- 第三十八条 教育職員法(昭和二十四年法律第百四十七号)の規定に基づく普通免許状の所要資格を取得しようとする者は、同法及び教育職員免許法施行規則(昭和二十九年文部省令第二十六号)の定めるところにより、別表第2に定める課程を修得しなければならない。
- 2 本学において取得できる普通免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

現代 社会 学部	学 科	取得免許状の種類		
		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状	特別支援学校教諭 一種免許状
	社会福祉学科	— —	福 祉 公 民	知的障害者・肢体 不自由者・病弱者
	外国語学科	英 語	英 語	—
	経済政策学科	社 会	公 民	—

(その他)

第三十九条 この章に定めるもののほか、授業科目の履修方法その他必要な事項は学長が別に定める。

第十章 休学、転学、留学、退学及び除籍

(休学)

第四十条 疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は教授会の議を経て、当該学生に休学を命ずることができる。
- 3 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、学長の許可を得て、1年を限度として延長することができる。
- 4 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
- 5 休学の期間は第二十条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第四十一条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第四十二条 他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第四十三条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、別に定めるところにより、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第二十条に規定する在学期間を含めることができる。
- 3 第三十五条の規定は、第1項の許可を得て留学する場合に準用する。

(退学)

第四十四条 退学しようとするものは、別に定めるところにより学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第四十五条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍することができる。

- (1) 第二十条の規定により定められた在学年限を超えた者
- (2) 第四十条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者
- (3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者

2 前項第二号により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

(その他)

第四十六条 第四十条から第四十五条に関して必要な事項は別に定める。

第十一章 卒業及び学位

(卒業)

第四十七条 本学に4年(第二十六条から第二十八条までの規定により入学したものについては、第二十九条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、所定の授業科目を履修し、及び所定の単位数を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(3年次卒業)

第四十八条 本学に3年以上在学した者で、別に定める卒業の要件を満たしている場合には、前条の規定にかかわらずその卒業を学長は認定することができる。

(学位の授与)

第四十九条 学長は、前2条により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

学科	学位
社会福祉学科	学士(社会福祉学)
外国語学科	学士(国際交流)
経済政策学科	学士(経済政策学)

2 学位の授与に関し必要な事項は別に定める。

第十二章 科目等履修生、研究生、特別聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第五十条 本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、科目等履修生として履修を許可することができる。

(特別の課程)

第五十条の2 学長は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 本学の学生が前項に規定する特別の課程を履修することが教育上有益であると認めるときは、当該課程を履修させることができる。

(特別聴講生)

第五十一条 他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を除く。以下この条において同じ。)の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

(研究生)

第五十二条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、入学を許可することができる。

2 研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力があると学長が認めた者とする。

(委託生)

第五十三条 本学において、官公庁、学校、団体等からその所属する職員に特定の事項について研修させるため委託があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、委託生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第五十四条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て学長は、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項のほか、外国の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、当該学生の入学を許可することができる。

(科目等履修生等の取扱い)

第五十五条 前五条に定めるもののほか、科目等履修生、研究生、委託生、特別聴講生及び外国人留学生に関し必要な事項は別に定める。

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

(授業料等の金額)

第五十六条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費及びその他の費用の納入額は別表第3のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第五十七条 授業料等は次の2期に分け、別表第3に定めるところにより、納入しなければならない。

前期分 4月中

後期分 10月中

- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であつて、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。
- 3 第四十条により休学を認められた学生の休学中の各学期(入学時の前期を除く)の学納金(授業料及び教育充実費)は全額免除とする。ただし休学手数料として各学期 5,000 円を徴収する。
- 4 学期途中で退学する者の当該学期分の学費等は、これを徴収する。
- 5 停学期間中の者の学費等は、これを徴収する。
- 6 いったん納付された検定料及び学費等は、返還しない。ただし、第二十五条第3項の規定により、大学の定める期日までに入学辞退の申し出があつた場合に限り、入学金を除く学費等を返還する。
- 7 第3項の規定にかかわらず、入学年次の前期に第四十条により休学を認められた学生の学納金は全額徴収する。また、第四十条により大学が定める期日以降に学期途中で休学を認められた学生の当該学期分の学費等は、返還しない。
- 8 前7項の他、授業料等の納入に関し必要な事項は別に定める。

第十四章 賞罰

(表彰)

第五十八条 学長は、表彰に値する行為があつた学生を、教授会の議を経て表彰することができる。

(懲戒)

第五十九条 学長は、本学の学則その他学生に関する諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、教授会の議を経て、懲戒することができる。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者

- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

(大学開放)

第六十条 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第六十一条 本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をととして本学の教育研究資源の地域社会への還元に積極的に努めるものとする。

第十六章 雑則

(雑則)

第六十二条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附 則

1. この学則は 2002(平成 14)年 4 月 1 日から施行する。
ただし、第二十二條、第二十三條、第二十四條、第五十六條、第五十七條の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。
2. 第五條第 2 項の規定の適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	収容定員
平成 14 年度	200 人	—	20 人	—	220 人
平成 15 年度	200 人	200 人	20 人	20 人	440 人
平成 16 年度	200 人	200 人	220 人	20 人	640 人

3. 長崎ウエスレヤン短期大学の平成 13 年度及び平成 14 年度の卒業者については、前号に関わらず、次表に掲げる年度の入学定員の範囲内で、本学の第 3 年次に編入学することができるものとする。

年度	第 3 年次編入学定員	編入学資格
平成 14 年度	200 人	長崎ウエスレヤン短期大学 平成 13 年度卒業生
平成 15 年度	200 人	長崎ウエスレヤン短期大学 平成 14 年度卒業生

附 則

この学則は、2003(平成 15)年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1. この学則は、2004(平成 16)年 4 月 1 日から施行する。
2. 第三十条第 2 項の別表第 1 及び第三十八条第 1 項の別表第 2 の教育課程表は 2004 年度入学生から適用し、2003 年度より以前に入学した学生については、従前の教育課程表による。

附 則

1. この学則は、2005(平成 17)年 4 月 1 日から施行する。
2. 現代社会学部福祉コミュニティ学科の存続に関する経過措置
第六条第 1 項の規定に関らず、現代社会学部福祉コミュニティ学科は、当該学科に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は従前によるものとする。
第三十八条第 2 項の規定に関らず、現代社会学部福祉コミュニティ学科における取得教員免許状の種類及び免許教科は、なお従前の例による。
3. 第六条第 2 項の規定に関らず、2005(平成 17)年度及び 2006(平成 18)年の 3 年次編入学定員は次のとおりとする。

学科名	3 年次編入学定員	
	2005(平成 17)年度	2006(平成 18)年
福祉コミュニティ学科	20 人	20 人
社会福祉学科	0 人	0 人
地域づくり学科	0 人	0 人
国際交流学科	0 人	0 人

附 則

この学則は、2006(平成 18)年 10 月 11 日から施行する。

附 則

この学則は、2007(平成 19)年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、2008(平成 20)年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1. この学則は、2009(平成 21)年 4 月 1 日から施行する。
2. 別表第 I に定める授業科目及び単位数のうち、下記の科目については、2009(平成 21)年度 2 年次転入学生及び 3 年次編入学生より適用するものとする。

「医学一般」、「社会福祉原論Ⅰ」、「社会福祉原論Ⅱ」、「ソーシャルワーク総論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論Ⅱ」、「社会保障論Ⅰ」、「社会保障論Ⅱ」、「公的扶助論」、「地域福祉論Ⅰ」、「地域福祉論Ⅱ」、「社会福祉援助技術論Ⅰ」、「社会福祉援助技術論Ⅱ」、「福祉行財政と福祉計画」、「福祉運営管理」、「高齢者福祉論Ⅰ」、「高齢者福祉論Ⅱ」、「障害者福祉論」、「児童福祉論」、「保健医療サービス」、「就労支援サービス」、「権利擁護と成年後見制度」、「更生保護制度」、「介護概論」、「スピリチュアルケア概論」、「死生学特講」、「パストラルケア論」、「緩和ケア論」、「医療ボランティア論」、「スピリチュアルケア技術論Ⅰ」、「スピリチュアルケア技術論Ⅱ」、「臨床社会学」、「いのちの教育」、「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」、「相談援助演習Ⅲ」、「相談援助演習Ⅳ」、「相談援助演習Ⅴ」、「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」、「相談援助実習指導Ⅲ」、「相談援助実習」、「スピリチュアルケア演習」

附 則

1. この学則は、2010(平成 22)年 4 月 1 日から施行する。
2. 現代社会学部地域づくり学科の存続に関する経過措置
 第六条第 1 項の規定に関らず、現代社会学部地域づくり学科は、当該学科に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は従前によるものとする。
 第三十八条第 2 項の規定に関らず、現代社会学部地域づくり学科における取得教員免許状の種類及び免許教科は、なお従前の例による。
3. 第六条第 4 項の規定に関わらず、2010(平成 22)年度及び 2011(平成 23)年度の 3 年次編入学定員は次のとおりとする。

学科	3年次編入学定員	
	2010(平成 22)年 度	2011(平成 23)年 度
社会福祉学科	5 人	5 人
国際交流学科	2 人	2 人
地域づくり学科	3 人	3 人
経済政策学科	0 人	0 人

附則

1. この学則は 2011(平成 23)年 4 月 1 日より施行する。
2. 2010(平成 22)年 4 月 1 日施行の学則変更の附則 3 に定める表のうち、2011(平成 23)年度の国際交流学科の 3 年次編入学定員は、外国語学科の 3 年次編入学定員と読み替える。

附則

1. この学則は 2012(平成 24)年 4 月 1 日より施行する。
2. 第三十四条の規定は、2012(平成 24)年度入学生(編入学生及び転入学性を含む)より適用し、2011(平成 23)年度以前に入学した者は、従前の通りの成績評価区分を適用する。

附則

1. この学則は 2013(平成 25)年 4 月 1 日より施行する。

附則

1. この学則は 2014(平成 26)年 4 月 1 日より施行する。

ただし、第 6 条第 4 項に関わらず、経済政策学科の収容定員は、下表のとおりとする。

定員	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
1 年次	50	50	50	50
2 年次	70	50	50	50
3 年次	70	70	50	50
編入学	5	5	5	5
4 年次	75	75	75	55
収容定員	270	250	230	210

附則

この学則は 2015(平成 27)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2016(平成 28)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2017(平成 29)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2018(平成 30)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2019(平成 31)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2019(令和元)年 10 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2020 (令和 2)年 4 月 1 日より施行する。

ただし、第三十八条第 2 項のうち、特別支援学校教諭一種免許状については、2020(令和2)年度入学者より取得することができる。

附則

この学則は 2021(令和 3)年 4 月 1 日より施行する。

附則

この学則は 2022(令和 4)4 月 1 日より施行する。

別表第1 各学科の教育課程及び卒業要件

1-1 社会福祉学科 教育課程

科目 区分	モジュール	科目名	配当年度		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
基盤 教育科目	建学の精神 モジュール	建学の理念と歴史	1	前期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅰ	1	後期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅱ	3	後期	2			○			
		小計(3科目)			6	0					
	就職基礎 モジュール	就職活動スキルⅠ	2	前期	1				○		
		就職活動スキルⅡ	2	後期	1				○		
		就職活動スキルⅢ	3	前期		1			○		
		就職活動スキルⅣ	3	後期		1			○		
		小計(4科目)			2	2					キャリア形成科目より 4単位を選択
	日本語リテラシー モジュール	日本語リテラシーA	1	前期	1				○		
		日本語リテラシーB	1	前期	1						
		小計(2科目)			2	0					
	外国語コミュニケーション モジュール	英語ⅠA	1	前期		2			○		英語・中国語のい ずれかの言語4単 位選択必修
		英語ⅠB	1	後期		1			○		
		英語Ⅱ	2	前期		1			○		
		中国語ⅠA	1	前期		2			○		
		中国語ⅠB	1	後期		1			○		
		中国語Ⅱ	2	前期		1			○		
		韓国語Ⅰ	1	後期		1			○		
		韓国語Ⅱ	2	前期		1			○		
		小計(8科目)	-		0	10	0				
	ICTスキル モジュール	ICTスキルⅠA	1	前期	2				○		※週2コマ開講
		ICTスキルⅠB	1	後期		1			○		
		ICTスキルⅡA	2	前期		1			○		
		ICTスキルⅡB	2	後期		1			○		
		ICTスキルⅢ	3	前期		1			○		
		小計(5科目)	-		2	4					
	福祉コミュニティ基礎 モジュール	福祉コミュニティ総論	1	前期	4			○	○		
		コミュニティサービスラーニングⅠA	1	前期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスラーニングⅠB	1	後期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスラーニングⅡ	2	前・後	2			○	○	○	
		基礎演習ⅠA	1	前期	1				○		
		基礎演習ⅠB	1	後期	1				○		
		基礎演習ⅡA	2	前期	1				○		
		基礎演習ⅡB	2	後期	1				○		
		小計(8科目)			12	0					
	小計(27科目)				18	16					
専門 教育科目	コアモジュールⅠ	社会福祉原論Ⅰ	1	前期	2			○			※コミュニケーションスキル相当科目 ※「コミュニティサービ スラーニングⅢ」、「相 談援助実習」のい ずれかより2単位を選択 必修とする。
		コアモジュールⅡ	2	前期	1				○		
	コアモジュールⅢ	コミュニティサービスラーニングⅢ	3	前・後		2		○	○	○	
		専門演習ⅠA	3	前・後	1				○		
		専門演習ⅠB	3	前・後	1				○		
	コアモジュールⅣ	専門演習ⅡA	4	前・後	1				○		
		専門演習ⅡB	4	前・後	1				○		
		卒業研究	4	通年	4			○	○	○	
		小計(8科目)			11	2					
	学科基礎 モジュール	社会学基礎	1	後期		2		○			専門教育科目より 79単位を選択 (必修科目・選択必修 科目を除く)
		スポーツ実習	1	前期		1				○	
		倫理学	1	後期		2		○			
		健康の科学	1	後期		2		○			
		法学	2	前期		2		○			
		コミュニケーション論	2	前期		2		○			
		哲学	1	前期		2		○			
		ミクロ経済学Ⅰ	1	後期		2		○			
		マクロ経済学Ⅰ	2	前期		2		○			
		法律学	1	後期		2		○			
		国際関係論	2	後期		2		○			

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	学科基礎 モジュール	社会心理学	2	前期		2		○			
		臨床心理学	2	後期		2		○			
		介護概論	2	後期		2		○			
		介護技術演習	3	前期		1			○		
		発達と老化	3	後期		2		○			
		人体の構造と生活機能	3	後期		2		○			
		NICEキャンパスコーディネート科目	1	後期		2					
		小計(18科目)			0	34					
	人間と社会の 関係性のモ ジュール	心理学と心理的支援	1	前期		2			○		
		医学概論	1	後期		2		○			
		社会学と社会システム	3	前期		2		○			
	ソーシャルワーク の理論と方法 モジュール	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	前期		2					
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	後期		2					
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	前期		4					
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	後期		4					
		社会福祉調査の基礎	3	後期		2					
		福祉サービスの組織と経営	3	前期		2					
	社会福祉の原理 や基盤のモ ジュール	社会福祉原論Ⅱ	1	後期		2		○			
		社会保障Ⅰ	2	前期		2		○			
		社会保障Ⅱ	2	後期		2		○			
		権利擁護を支える法制度	3	前期		2		○			
	福祉課題への包 括的支援モ ジュール	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	後期		2		○			
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	3	前期	2			○			
		高齢者福祉	2	前期		2		○			
		障害者福祉	2	前期	2			○			
		児童・家庭福祉	1	後期		2		○			
		貧困に対する支援	3	後期		2		○			
		保健医療と福祉	3	前期		2		○			
		刑事司法と福祉	3	後期		2		○			
	ソーシャルワーク 実践モジュール	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	後期		1			○		
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3	前期		1			○		
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3	後期		1			○		
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4	前期		1			○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	後期		2		○	○	○	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	前期		2		○	○	○	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	後期		2		○	○	○	
		ソーシャルワーク実習	3	前期		6				○	
		小計(26科目)			4	58					
社会 福祉科目	福祉課題への包 括的支援(精神 科)モジュール	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	前期		2		○			
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2	後期		2		○			
		精神医学と精神医療Ⅰ	2	前期		2		○			
		精神医学と精神医療Ⅱ	2	後期		2		○			
		現代の精神保健の課題と支援	3	前期		2		○			
		現代の精神保健の課題と支援	3	後期		2		○			
		精神保健福祉制度論	3	前期		2		○			
		精神障害リハビリテーション論	2	後期		2		○			
	ソーシャルワークの理論と方 法(精神科)モジュール	精神科ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	後期		2		○			
		精神科ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3	前期		2		○			
	ソーシャルワーク 実践(精神科)モ ジュール	精神科ソーシャルワーク演習Ⅰ	3	後期		1			○		
		精神科ソーシャルワーク演習Ⅱ	4	前期		1			○		
		精神科ソーシャルワーク演習Ⅲ	4	後期		1			○		
		精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3	後期		2		○	○	○	
		精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4	前期		2		○	○	○	
		精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4	前期		2		○	○	○	
		精神科ソーシャルワーク実習	4	前期		4				○	
		小計(17科目)			0	33					
医療 福祉科目	医療福祉モ ジュール	医療福祉入門	1	後期		2		○			
		医療ソーシャルワーク論	3	後期		2		○			
		医学一般Ⅱ	2	前期		2		○			
		小計(3科目)									

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	特別支援教育Ⅰ モジュール	特別支援教育基礎理論	1	後期		2		○			
		特別支援教育史	1	後期		2		○			
	特別支援教育Ⅱ モジュール	障害者の心理	2	前期		2		○			
		障害者の生理	2	前期		2		○			
		知的障害者の理解と支援	2	後期		1		○			
		肢体不自由者の理解と支援	3	前期		1		○			
		病弱者の理解と支援	3	前期		2		○			
		知的障害者教育課程論	2	後期		2		○			
	特別支援教育Ⅲ モジュール	肢体不自由者教育課程論	3	前期		1		○			
		知的障害者指導法	2	後期		2		○			
		肢体不自由者指導法	3	前期		2		○			
		病弱者教育課程・指導法	3	前期		2		○			
		視覚障害者教育総論	3	後期		2		○			
	特別支援教育Ⅳ モジュール	聴覚障害者教育総論	3	後期		2		○			
		重複障害者教育総論	4	前期		2		○			
		発達障害者教育総論	4	前期		2		○			
	特別支援教育Ⅴモジュール	特別支援教育実習	4	前期		3			○	○	
	国家試験モジュール	福祉総合演習Ⅰ	3	前期		1			○		
		福祉総合演習Ⅱ	3	後期		1			○		
		福祉総合演習Ⅲ	4	前期		1			○		
		福祉総合演習Ⅳ	4	後期		1			○		
		福祉総合演習Ⅴ	4	後期		1			○		
		小計(5科目)			0	5					
	学科関連科目	教育原理	1	前期		2		○			
		教育の制度と社会	1	後期		2		○			
		教師論	1	後期		2		○			
		教育学	2	前期		2		○			
		学習・発達心理学	2	前期		2		○			
		生涯学習・社会教育論	3	前期		2		○			
		教育心理学	3	後期		2		○			
		教育相談・カウンセリング	3	後期		2		○			
		小計(8科目)			0	16					

1-2 社会福祉学科 卒業要件

2021年度以降 入学生適用

科目区分／モジュール		必修	選択必修	選択	計	
基盤教育科目	建学の精神科目	建学の精神モジュール	6単位	－	6単位	
	キャリア形成科目	就職基礎モジュール	2単位	－	4単位	14単位
		日本語リテラシーモジュール	2単位	－		
		外国語コミュニケーションモジュール	－	4単位		
		ICTスキルモジュール	2単位	－		
		福祉コミュニティ基礎モジュール	12単位	－	－	12単位
		計	18単位	4単位	4単位	26単位
	計	24単位	4単位	4単位	32単位	
専門教育科目	コアモジュールⅠ		2単位	－	－	2単位
	コアモジュールⅡ		1単位	－	－	1単位
	コアモジュールⅢ		2単位	2単位	－	4単位
	コアモジュールⅣ		6単位	－	－	6単位
	学科基礎モジュール		－	－	79単位	83単位
	人間と社会と関係性のモジュール					
	社会福祉科目	ソーシャルワークの理論と方法モジュール				
		社会福祉の原理や基盤のモジュール				
		福祉課題への包括的支援モジュール				
		ソーシャルワーク実践モジュール	4単位			
	精神保健福祉科目	福祉課題への包括的支援(精神科)モジュール	－	－	－	－
		ソーシャルワークの理論と方法(精神科)モジュール				
		ソーシャルワーク実践(精神科)モジュール				
	医療福祉科目	医療福祉モジュール	－	－	－	－
	特別支援教育科目	特別支援教育モジュールⅠ				
		特別支援教育モジュールⅡ				
		特別支援教育モジュールⅢ				
特別支援教育モジュールⅣ						
特別支援教育モジュールⅤ						
特別支援教育実習モジュール						
国家試験モジュール		15単位	2単位	79単位	96単位	
学科関連科目						
計		15単位	2単位	79単位	96単位	
卒業要件単位		39単位	6単位	83単位	128単位	

※基盤教育科目の外国語コミュニケーションモジュールは、英語・中国語のいずれかの言語を4単位選択必修とする。

※専門教育科目コアモジュールⅢの選択必修2単位は、「コミュニティサービスラーニングⅢ」、「相談援助実習」のいずれかより2単位を選択必修とする。

2-1 経済政策学科 教育課程

科目 区分	モジュール	科目名	配当年度		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
基盤 教育科目	建学の精神 モジュール	建学の理念と歴史	1	前期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅰ	1	後期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅱ	3	後期	2			○			
		小計(3科目)			6	0					
	就職基礎 モジュール	就職活動スキルⅠ	2	前期	1				○		
		就職活動スキルⅡ	2	後期	1				○		
		就職活動スキルⅢ	3	前期		1			○		
		就職活動スキルⅣ	3	後期		1			○		
		小計(4科目)			2	2					キャリア形成科目より 4単位を選択
	日本語リテラ シー モジュール	日本語リテラシーA	1	前期	1				○		
		日本語リテラシーB	1	前期	1						
		小計(2科目)			2	0					
	外国語 コミュニケーション モジュール	英語	英語ⅠA	1	前期		2		○		英語・中国語のい ずれかの言語4単 位選択必修
			英語ⅠB	1	後期		1		○		
			英語Ⅱ	2	前期		1		○		
		中国語	中国語ⅠA	1	前期		2		○		
			中国語ⅠB	1	後期		1		○		
			中国語Ⅱ	2	前期		1		○		
		韓国語	韓国語Ⅰ	1	後期		1		○		
			韓国語Ⅱ	2	前期		1		○		
			小計(8科目)	-		0	10	0			
		ICTスキル モジュール	ICTスキルⅠA	1	前期	2			○		※週2コマ開講
			ICTスキルⅠB	1	後期		1		○		
			ICTスキルⅡA	2	前期		1		○		
			ICTスキルⅡB	2	後期		1		○		
			ICTスキルⅢ	3	前期		1		○		
			小計(5科目)	-		2	4				
	福祉コミュニティ基礎 モジュール	福祉コミュニティ総論	1	前期	4			○	○		
		コミュニティサービスマーケティングⅠA	1	前期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスマーケティングⅠB	1	後期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスマーケティングⅡ	2	前・後	2			○	○	○	
		基礎演習ⅠA	1	前期	1				○		
		基礎演習ⅠB	1	後期	1				○		
		基礎演習ⅡA	2	前期	1				○		
		基礎演習ⅡB	2	後期	1				○		
		小計(8科目)			12	0					
	小計(27科目)				18	16					
専門 教育科目	コアモジュールⅠ	ミクロ経済学Ⅰ	1	後期	2			○			経済コース必修 経済コース必修 経営コース必修 地域政策コース必修 ※「コミュニティサービスマー ケティングⅢ」、「社会調査実 習」のいずれかより2 単位を選択必修とす る。
		地域づくり論	1	後期	2			○			
	コアモジュールⅡ	コミュニケーション演習A	2	前期	1				○		
		コミュニケーション演習B	2	後期	1				○		
		マクロ経済学Ⅰ	2	前期	2			○			
		社会調査	2	後期	2			○			
		経営学総論	2	前期	2			○			
	コアモジュールⅢ	ミクロ経済学Ⅲ	3	前期		2		○			
		マクロ経済学Ⅲ	3	後期		2		○			
		経営管理論	3	後期		2		○			
		コミュニティ論	3	前期		2		○			
		コミュニティサービスマーケティングⅢ	3	前・後		2			○	○	
		専門演習ⅠA	3	前・後	1				○		
		専門演習ⅠB	3	前・後	1				○		
	コアモジュールⅣ	専門演習ⅡA	4	前・後	1				○		
		専門演習ⅡB	4	前・後	1				○		
		卒業研究	4	通年	4			○	○	○	
	小計(17科目)				20	10					

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	学科基礎 モジュール	社会学基礎	1	後期		2		○			専門教育科目より 72単位を選択 (必修科目・選択必修 科目を除く)
		スポーツ実習	1	前期		1				○	
		倫理学	1	後期		2		○			
		健康の科学	1	後期		2		○			
		法学	2	前期		2		○			
		コミュニケーション論	2	前期		2		○			
		統計学I	1	後期		2		○			
		法律学	1	後期		2		○			
		民法	2	後期		2		○			
		哲学	1	前期		2		○			
		心理学と心理的支援	1	前期		2			○		
		社会心理学	2	前期		2		○			
		NICEキャンパスコーディネーター科目	1	後期		2					
		小計(13科目)			0	25	0				
経済 コース	経済学中級 モジュール	ミクロ経済学II	2	前期		2		○			
		マクロ経済学II	2	後期		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	経済論 モジュール	地域経済論	3	前期		2		○			
		日本経済論	3	後期		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	開発と経済 モジュール	開発経済論	3	後期		2		○			
		社会開発と教育	2	後期		2		○			
		アジア経済論	3	前期		2		○			
		小計(3科目)			0	6					
	社会調査 モジュール	社会調査演習	2	後期		2		○			
		社会調査実習	3	通年		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	政治と経済 モジュール	国際経済学	2	前期		2		○			
		国際関係論	2	後期		2		○			
		現代中国経済事情	3	前期		2		○			
		小計(3科目)			0	6					
	お金のしくみ モジュール	金融論	2	後期		2		○			
		特別講義I	2	前・後		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	行政職 モジュール	財政学	3	前期		2		○			
		行政法概論	3	後期		2		○			
		公共経済学	3	前期		2		○			
		小計(3科目)			0	6					
経営 コース	企業経営入門 モジュール	簿記入門	2	前期		2		○			
		簿記初級	2	後期		2		○			
		中小企業論	3	後期		2		○			
		小計(3科目)			0	6					
	マーケティングと 手法 モジュール	マーケティング論	2	前期		2		○			
		経営情報システム論	3	後期		2		○			
		統計学II	2	前期		2		○			
		統計学III	2	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	8					
	企業の経営と管 理 モジュール	労働法	3	後期		2		○			
		労務管理論	2	後期		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	企業の経営の実 際実務 モジュール	簿記上級	3	前期		2		○			
		会社法	3	前期		2		○			
		小計(2科目)			0	4					

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	地域 政策 コース	歴史と文化Ⅰ モジュール	日本文化論	3	前期		2		○		
			日本史	2	前期		2		○		
			小計(2科目)			0	4				
		歴史と文化Ⅱ モジュール	外国史	2	前期		2		○		
			比較文化論	3	後期		2		○		
			地理学	2	後期		2		○		
			小計(3科目)			0	6				
		地域の実際 モジュール	地域実習	2	通年		2				○
			小計(1科目)			0	2				
		地域の問題 モジュール	地域振興論	3	前期		2		○		
			地方財政論	3	前期		2		○		
			小計(2科目)			0	4				
		地域の主体形成 モジュール	生涯学習・社会教育論	3	前期		2		○		
			地方自治論	3	後期		2		○		
			市民活動論	3	後期		2		○		
			小計(3科目)			0	6				
		観光とまちづくり モジュール	観光論	3	後期		2		○		
			地域国際化論	3	後期		2		○		
			小計(2科目)			0	4				
		地域資源と活用 モジュール	文化経済学	3	前期		2		○		
			コミュニティビジネス	3	前期		2		○		
			地域資源論	3	前期		2		○		
			小計(3科目)			0	6				
	英語 科目	English (written) Translation モジュール	English Communication I	3	前期		2		○		
			English Communication II	3	後期		2		○		
			英語翻訳 I	3	前期		2		○		
			英語翻訳 II	3	後期		2		○		
			小計(4科目)			0	8				
		TOEIC モジュール	English Proficiency I	1	前期		2		○		
			English Proficiency II	1	後期		2		○		
			English Proficiency III	2	前期		2		○		
			English Proficiency IV	2	後期		2		○		
			English Proficiency V	3	前期		2		○		
			English Proficiency VI	3	後期		2		○		
			小計(6科目)			0	12				
	中国語 科目	中国語初級 モジュール	中国語会話 I	1	後期		1			○	
			中国語文法	1	後期		1			○	
			中国語会話 II	2	前期		1			○	
			中国語聴解	2	後期		1			○	
			小計(4科目)			0	4				
		中国語中級 モジュール	中国語語彙研究	2	前期		2		○		
			中国語作文	2	後期		1			○	
			中国語読解	2	後期		1			○	
			中国語翻訳 I	3	前期		2		○		
			小計(4科目)			0	6				
		中国語上級 モジュール	中国語精読	3	前期		2		○		
			時事中国語	3	前期		2		○		
			中国語講読	3	後期		2		○		
			中国語翻訳 II	3	後期		2		○		
			小計(4科目)			0	8				
		小計(12科目)				0	18				
	日本語 科目	日本語 初級Ⅱ モジュール	日本語初級Ⅱ 総合	1	前・後		8			○	※週8コマ開講
			日本語初級Ⅱ 読解	1	前・後		1			○	
			日本語初級Ⅱ 聴解	1	前・後		1			○	
			日本語初級Ⅱ 会話	1	前・後		1			○	
			日本語初級Ⅱ 文字・語彙	1	前・後		1			○	
			小計(5科目)			0	12				

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	日本語 中級Ⅰ モジュール	日本語中級Ⅰ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講
		日本語中級Ⅰ読解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅰ聴解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅰ文法	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅰ文字・語彙	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 中級Ⅱ モジュール	日本語中級Ⅱ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講
		日本語中級Ⅱ読解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅱ聴解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅱ文法	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語中級Ⅱ文字・語彙	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 上級Ⅰ モジュール	日本語上級Ⅰ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講
		日本語上級Ⅰ読解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語上級Ⅰ聴解	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語上級Ⅰ文法	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		日本語上級Ⅰ文字・語彙	1	前・後		2			○		※週2コマ開講
		小計(5科目)			0	12					
	学科関連科目	教育の制度と社会	1	後期		2		○			
		教育原理	1	前期		2		○			
		教師論	1	後期		2		○			
		教育学	2	前期		2		○			
		学習・発達心理学	2	前期		2		○			
		教育心理学	3	後期		2		○			
		教育相談・カウンセリング	3	後期		2		○			
		特別講義Ⅱ	1,2,3,4	前・後		2		○			
		特別講義Ⅲ	1,2,3,4	前・後		2		○			
		特別講義Ⅳ	1,2,3,4	前・後		2		○			
		小計(10科目)			0	20					

2-2 経済政策学科 卒業要件

科目区分／モジュール			必修	選択必修	選択	計				
基盤教育科目	キャリア形成科目	福祉コミュニティ基礎モジュール	12単位	－	4単位	26単位				
		就職基礎モジュール	2単位	－						
		日本語リテラシーモジュール	2単位	－						
		外国語コミュニケーションモジュール	－	4単位						
		ICTスキルモジュール	2単位	－						
		計	18単位	4単位			4単位	26単位		
	建学の精神科目	建学の精神モジュール	6単位	－	－	6単位				
計		24単位	4単位	4単位	32単位					
専門教育科目	コアモジュールⅠ		4単位	－	－	4単位				
	コアモジュールⅡ		8単位	－	－	8単位				
	コアモジュールⅢ		4単位	2単位	－	6単位				
	コアモジュールⅣ		6単位	－	－	6単位				
	学科基礎モジュール		－	－	72単位	72単位				
	経済コース	経済学中級モジュール								
		経済論モジュール								
		開発と経済モジュール								
		社会調査モジュール								
		政治と経済モジュール								
	経営コース	企業経営入門モジュール								
		マーケティングと手法モジュール								
		企業の経営と管理モジュール								
		企業の経営の実際実務モジュール								
	地域政策コース	歴史と文化Ⅰモジュール								
		歴史と文化Ⅱモジュール								
		地域の実験モジュール								
		地域の問題モジュール								
		地域の主体形成モジュール								
		観光とまちづくりモジュール								
		地域資源と活用モジュール								
	英語科目	English (written) Translationモジュール								
		TOEICモジュール								
	中国語科目	中国語初級モジュール								
		中国語中級モジュール								
		中国語上級モジュール								
	日本語科目	日本語初級Ⅱモジュール								
		日本語中級Ⅰモジュール								
		日本語中級Ⅱモジュール								
		日本語上級Ⅰモジュール								
	学科関連科目						22単位	2単位	72単位	96単位
	計									
卒業要件単位							46単位	6単位	76単位	128単位

※基盤教育科目の外国語コミュニケーションモジュールは、英語・中国語のいずれかの言語を4単位選択必修とする。
 経済コースは、専門教育科目コア・モジュールⅢのうち、ミクロ経済学Ⅲ、マクロ経済学Ⅲを修得すること。
 経営コースは、専門教育科目コア・モジュールⅢのうち、経営管理論を修得すること。
 地域政策コースは、専門教育科目コア・モジュールⅢのうち、コミュニティ論を修得すること。

3-1 外国語学科 教育課程

科目 区分	モジュール	科目名	配当年度		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
基盤 教育科目	建学の精神 モジュール	建学の理念と歴史	1	前期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅰ	1	後期	2			○			
		現代社会とキリスト教Ⅱ	3	後期	2			○			
		小計(3科目)			6	0					
	就職基礎 モジュール	就職活動スキルⅠ	2	前期	1				○		
		就職活動スキルⅡ	2	後期	1				○		
		就職活動スキルⅢ	3	前期		1			○		
		就職活動スキルⅣ	3	後期		1			○		
		小計(4科目)			2	2					キャリア形成科目より 4単位を選択
	日本語リテラシー モジュール	日本語リテラシーA	1	前期	1				○		
		日本語リテラシーB	1	前期	1						
		小計(2科目)			2	0					
	外国語コミュニケーション モジュール	英語ⅠA	1	前期		2			○		
		英語ⅠB	1	後期		1			○		
		英語Ⅱ	2	前期		1			○		
		中国語ⅠA	1	前期		2			○		
		中国語ⅠB	1	後期		1			○		
		中国語Ⅱ	2	前期		1			○		
		韓国語Ⅰ	1	後期		1			○		
		韓国語Ⅱ	2	前期		1			○		
		小計(8科目)	-		0	10					英語・中国語のい ずれかの言語より 4単位を選択必修 とする。
	ICTスキル モジュール	ICTスキルⅠA	1	前期	2				○		
		ICTスキルⅠB	1	後期		1			○		
		ICTスキルⅡA	2	前期		1			○		
		ICTスキルⅡB	2	後期		1			○		
		ICTスキルⅢ	3	前期		1			○		
		小計(5科目)	-		2	4					※週2コマ開講
	福祉コミュニティ基礎 モジュール	福祉コミュニティ総論	1	前期	4			○	○		
		コミュニティサービスラーニングⅠA	1	前期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスラーニングⅠB	1	後期	1			○	○	○	
		コミュニティサービスラーニングⅡ	2	前・後	2			○	○	○	
		基礎演習ⅠA	1	前期	1				○		
		基礎演習ⅠB	1	後期	1				○		
		基礎演習ⅡA	2	前期	1				○		
		基礎演習ⅡB	2	後期	1				○		
		小計(8科目)			12	0					
	小計(27科目)				18	16					
専門 教育科目	コアモジュールⅠ	日本研究	1	後期	2			○			
		異文化間コミュニケーション論	2	前期	2			○			
	コアモジュールⅡ	異文化間コミュニケーションスキル	2	後期	1				○		
		社会言語学	3	前期	2			○			
	コアモジュールⅢ	コミュニティサービスラーニングⅢ	3	前・後		2		○	○	○	
		専門演習ⅠA	3	前・後	1				○		
		専門演習ⅠB	3	前・後	1				○		
		専門演習ⅡA	4	前・後	1				○		
	コアモジュールⅣ	専門演習ⅡB	4	前・後	1				○		
		卒業研究	4	通年	4			○	○	○	
		小計(10科目)			15	2					※「コミュニティサービスラー ニングⅢ」、「日本語教育 実習」、3年次に履修 した「海外実習(Ⅰ～ Ⅳ)」のいずれかより2 単位を選択必修とす る。
	学科基礎 モジュール	社会学基礎	1	後期		2		○			
		スポーツ実習	1	前期		1				○	
		倫理学	1	後期		2		○			
		健康の科学	1	後期		2		○			
		法学	2	前期		2		○			
		コミュニケーション論	2	前期		2		○			
		日本史	2	前期		2		○			
		外国史	2	前期		2		○			
		英語学概論	3	後期		2		○			
		社会心理学	2	前期		2		○			
		NICEキャンパスコーディネート科目	1	後期		2					
		小計(11科目)			0	21					専門教育科目より 79単位を選択 (必修科目・選択必修 科目を除く)

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	文化理解 モジュール	欧米文化論	1	前期		2		○			
		英語文学	1	後期		2		○			
		日本伝統芸術(生け花)	1	前・後		1			○		
		日本伝統芸術(茶道)	1	前・後		1			○		
		日本伝統芸術(書道)	1	前・後		1			○		
		比較文化論	3	前期		2		○			
		アジア文化論	2	後期		2		○			
		小計(7科目)			0	11					
	国際交流 モジュール	国際文化交流論	2	後期		2		○			
		開発経済論	3	後期		2		○			
		グローバル・スタディー	3	前期		2		○			
		国際協力論	3	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	8					
	Basic English モジュール	English Grammar I	1	前期		2		○			
		English Grammar II	1	後期		2		○			
		小計(2科目)			0	4					
	Listening Writing Skills モジュール	Creative Writing I	2	前期		1			○		
		Creative Writing II	2	後期		1			○		
		Academic English I	3	前期		2		○			
		Academic English II	3	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	6					
	Oral Communication モジュール	英語音声学	1	後期		2		○			
		English Presentation I	3	前期		2		○			
		English Presentation II	3	後期		2		○			
		英語通訳 I	3	前期		2		○			
		英語通訳 II	3	後期		2		○			
		小計(5科目)			0	10					
	English (written) Translation モジュール	English Communication I	3	前期		2		○			
		English Communication II	3	後期		2		○			
		英語翻訳 I	3	前期		2		○			
		英語翻訳 II	3	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	8					
	TOEIC モジュール	English Proficiency I	1	前期		2		○			
		English Proficiency II	1	後期		2		○			
		English Proficiency III	2	前期		2		○			
		English Proficiency IV	2	後期		2		○			
		English Proficiency V	3	前期		2		○			
		English Proficiency VI	3	後期		2		○			
		小計(6科目)			0	12					
	英語教育 モジュール	英語科教育法 I	3	前期		2		○			
		英語科教育法 II	3	前期		2		○			
		英語科教育法 III	3	後期		2		○			
		英語科教育法 IV	3	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	8					
	小計(25科目)				0	48					
中国語 科目	中国語初級 モジュール	中国語会話 I	1	後期		1			○		
		中国語文法	1	後期		1			○		
		中国語会話 II	2	前期		1			○		
		中国語聴解	2	後期		1			○		
		小計(4科目)			0	4					
	中国語中級 モジュール	中国語語彙研究	2	前期		2		○			
		中国語作文	2	後期		1			○		
		中国語読解	2	後期		1			○		
		中国語翻訳 I	3	前期		2		○			
		小計(4科目)			0	6					
	中国語上級 モジュール	中国語精読	3	前期		2		○			
		時事中国語	3	前期		2		○			
		中国語講読	3	後期		2		○			
		中国語翻訳 II	3	後期		2		○			
		小計(4科目)			0	8					
	小計(12科目)				0	18					

科目 区分	モジュール	科目名	配当年次		単位数又は時間数			授業形式			備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	
専門 教育科目	日本語 初級Ⅰ モジュール	日本語初級Ⅰ総合	1	前・後		8			○		※週8コマ開講
		日本語初級Ⅰ読解	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅰ聴解	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅰ会話	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅰ文字・語彙	1	前・後		1			○		
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 初級Ⅱ モジュール	日本語初級Ⅱ総合	1	前・後		8			○		※週8コマ開講
		日本語初級Ⅱ読解	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅱ聴解	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅱ会話	1	前・後		1			○		
		日本語初級Ⅱ文字・語彙	1	前・後		1			○		
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 中級Ⅰ モジュール	日本語中級Ⅰ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講
		日本語中級Ⅰ読解	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅰ聴解	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅰ文法	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅰ文字・語彙	1	前・後		2			○		
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 中級Ⅱ モジュール	日本語中級Ⅱ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講
		日本語中級Ⅱ読解	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅱ聴解	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅱ文法	1	前・後		2			○		
		日本語中級Ⅱ文字・語彙	1	前・後		2			○		
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 上級Ⅰ モジュール	日本語上級Ⅰ総合	1	前・後		4			○		※週4コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講 ※週2コマ開講
		日本語上級Ⅰ読解	1	前・後		2			○		
		日本語上級Ⅰ聴解	1	前・後		2			○		
		日本語上級Ⅰ文法	1	前・後		2			○		
		日本語上級Ⅰ文字・語彙	1	前・後		2			○		
		小計(5科目)			0	12					
	日本語 上級Ⅱ モジュール	日本語上級Ⅱ読解	1	前・後		2		○			
		日本語上級Ⅱビジネス会話	1	前・後		2		○			
		日本語上級Ⅱ文章作成法	1	前・後		2		○			
		小計(3科目)			0	6					
	小計(28科目)				0	66					
	日本語教師 モジュール	日本語教育論	2	前期		2		○			
		日本語教授法	2	後期		2		○			
		日本語教育実習	3	前期		2				○	
		小計(3科目)			0	6					
	海外活動 モジュール	海外実習Ⅰ	1～4	前・後		2		○	○	○	
		海外実習Ⅱ	1～4	前・後		2		○	○	○	
		海外実習Ⅲ	1～4	前・後		2		○	○	○	
		海外実習Ⅳ	1～4	前・後		2		○	○	○	
		小計(4科目)			0	8					
	学科関連科目	教育原理	1	前期		2		○			
		教育の制度と社会	1	後期		2		○			
		教師論	1	後期		2		○			
		教育学	2	前期		2		○			
		学習・発達心理学	2	前期		2		○			
		生涯学習・社会教育論	3	前期		2		○			
		教育相談・カウンセリング	3			2		○			
		教育心理学	3			2		○			
		小計(8科目)			0	16					

3-2 外国語学科 卒業要件

科目区分／モジュール			必修	選択必修	選択	計
基盤教育科目	キャリア形成科目	福祉コミュニティ基礎モジュール	12単位	－	4単位	26単位
		就職基礎モジュール	2単位	－		
		日本語リテラシーモジュール	2単位	－		
		外国語コミュニケーションモジュール	－	4単位		
		ICTスキルモジュール	2単位	－		
		計	18単位	4単位	4単位	26単位
	建学の精神科目	建学の精神モジュール	6単位	－	－	6単位
	計	24単位	4単位	4単位	32単位	
専門教育科目	コアモジュールⅠ		2単位	－	－	2単位
	コアモジュールⅡ		3単位	－	－	3単位
	コアモジュールⅢ		4単位	2単位	－	6単位
	コアモジュールⅣ		6単位	－	－	6単位
	学科基礎モジュール		－	－	79単位	79単位
	文化理解モジュール					
	国際交流モジュール					
	Basic Englishモジュール					
	Listening Writing Skillsモジュール					
	Oral Communicationモジュール					
	English (written) Translationモジュール					
	TOEICモジュール					
	英語教育モジュール					
	中国語初級モジュール					
	中国語中級モジュール					
	中国語上級モジュール					
	日本語初級Ⅰモジュール					
	日本語初級Ⅱモジュール					
	日本語中級Ⅰモジュール					
	日本語中級Ⅱモジュール					
	日本語上級Ⅰモジュール					
	日本語上級Ⅱモジュール					
	日本語教師モジュール					
	海外活動モジュール					
	学科関連科目					
		計	15単位	2単位	79単位	96単位
卒業要件単位			39単位	6単位	83単位	128単位

※基盤教育科目の外国語コミュニケーションモジュールは、英語・中国語のいずれかの言語を4単位選択必修とする。

※外国語学科専門教育科目コアモジュールⅢの選択必修2単位は、「コミュニティサービスラーニングⅢ」、

「日本語教育実習」、3年次に履修した「海外実習（Ⅰ～Ⅳ）」のいずれかより2単位を選択必修とする。

別表第2 教育職員免許状の所要資格を取得するための課程(2022年度以降入学者摘要)

○のついている科目は本課程における必修科目である。

1. 文部科学省令に定める科目

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

免許法施行規則に定める科目区分	単 位 数	本学開講授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
日本国憲法	2	法学	2		
体育	2	スポーツ実習	1		
		健康の科学	2		
外国語コミュニケーション	2	英語ⅠA		2	※
		英語ⅠB		1	※
		英語Ⅱ		1	※
		中国語ⅠA		1	
		中国語ⅠB		1	
		韓国語ⅠA		1	
		韓国語ⅠB		1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	ICTスキルⅠA		2	
		ICTスキルⅠB		1	
		ICTスキルⅡA		1	
		ICTスキルⅡB		1	

※「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語Ⅱ」は、高一種免(福祉)、高一種免(公民)、中一種免(社会)のみ外国語コミュニケーションの単位数として認める。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 社会福祉学科

① 高一種免(公民)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		本学開講授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項		必	選	
教科 及び 教科の 指導法 に関する 科目	「法律学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法律学	2		「教科に関する専門的事 項」の選択科目のうち、4単 位選択必修
		国際関係論	2		
		権利擁護を支える法制度		2	
	「社会学、経済学(国際経済を含 む。)」	ミクロ経済学Ⅰ		2	
		マクロ経済学Ⅰ		2	
		社会保障Ⅰ	2		
		社会保障Ⅱ	2		
		福祉コミュニティ総論		4	
		社会学基礎	2		
		社会学と社会システム		2	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2	
		社会福祉調査の基礎		2	
		コミュニケーション論		2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	現代社会とキリスト教Ⅰ		2	
		現代社会とキリスト教Ⅱ		2	
		哲学	2		
		倫理学	2		
		心理学と心理的支援	2		
		社会心理学		2	
		臨床心理学		2	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を 含む。)	社会科・公民科指導法Ⅰ	2		
		社会科・公民科指導法Ⅱ	2		

② 高一種免(福祉)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分		本学開講授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項		必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	社会福祉学 (職業指導を含む。)	社会福祉原論Ⅰ	2	
			社会福祉原論Ⅱ	2	
		高齢者福祉、児童福祉 及び障害者福祉	児童・家庭福祉	2	
			高齢者福祉論	2	
			障害者福祉	2	
		社会福祉援助技術	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		2
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	4	
		介護理論及び介護技術	介護概論	2	
			介護技術演習	1	
		社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉 施設等における介護実習を含む。)	ソーシャルワーク演習Ⅰ		1
			ソーシャルワーク演習Ⅱ		1
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2
			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2
			ソーシャルワーク実習	6	
		人体構造及び日常生活行動に関する 理解	人体の構造と生活機能	2	
		加齢及び障害に関する理解	発達と老化	2	
	教科及び教科の指導法に関する科目に おける複数の事項を合わせた内容に係る科 目				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を 含む。)	福祉科教育法Ⅰ	2		
		福祉科教育法Ⅱ	2		

③ 特別支援学校教諭一種免許状を取得する場合の教育課程

免許法施行規則に定める 科目区分		本学開講科目	単位数		中心となる領域	含む領域
			必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育基礎理論	2			
		特別支援教育史		2		
特別支援教育領域 に関する科目	心身に障害のある幼児、児童 又は生徒の心理、生理及び 病理に関する科目	障害者の心理	2		知的障害者	視覚障害者 聴覚障害者 肢体不自由者 病弱者
		障害者の生理	2		知的障害者	視覚障害者 聴覚障害者 肢体不自由者 病弱者
		知的障害者の理解と支援		1	知的障害者	
		肢体不自由者の理解と支援	1		肢体不自由者	
		病弱者の理解と支援	2		病弱者	
		知的障害者教育課程論	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
	心身に障害のある幼児、児童 又は生徒の教育課程及び指 導法に関する科目	肢体不自由者教育課程論	1		肢体不自由者	
		知的障害者指導法	2		知的障害者	
		肢体不自由者指導法	2		肢体不自由者	
		病弱者教育課程・指導法	2		病弱者	
	心身に障害のある幼児、児童 又は生徒の心理、生理及び 病理に関する科目					
免許状に定められる こととなる特別支援 教育領域以外の領 域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童 又は生徒の心理、生理及び 病理に関する科目					
	心身に障害のある幼児、児童 又は生徒の教育課程及び指 導法に関する科目	視覚障害者教育総論	1		視覚障害者	
		聴覚障害者教育総論	1		聴覚障害者	
		重複障害者教育総論	1		重複・LD等領域	
		発達障害者教育総論	2		重複・LD等領域	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての 教育実習		特別支援教育実習	3			

(2)経済政策学科

① 中一種免(社会)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分			本学開講授業科目	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項		必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日本史・外国史	日本史	2		
			外国史	2		
			日本文化論		2	
			比較文化論		2	
		地理学(地誌を含む。)	地理学	2		
			地域資源論		2	
		「法学、政治学」	法律学	2		
			行政法概論		2	
			国際関係論	2		
			地方自治論		2	
		「社会学、経済学」	民法		2	
			ミクロ経済学Ⅰ	2		
ミクロ経済学Ⅱ				2		
マクロ経済学Ⅰ			2			
マクロ経済学Ⅱ				2		
福祉コミュニティ総論				4		
社会学基礎			2			
コミュニケーション論				2		
コミュニティ論				2		
国際経済学				2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	公共経済学		2		
		文化経済学		2		
		社会調査		2		
		現代社会とキリスト教Ⅰ		2		
		現代社会とキリスト教Ⅱ		2		
		哲学	2			
		倫理学	2			
		教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた内容に 係る科目				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用 を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ	2			
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2			
		社会科教育法Ⅰ	2			
		社会科教育法Ⅱ	2			

② 高一種免(公民)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分			本学開講授業科目	単位数		備考	
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項		必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法学	2	2	「教科に関する専門的事 項」の選択科目のうち、4単 位選択必修	
			行政法概論	2			2
			国際関係論				
			地方自治論				
			民法				
		「社会学、経済学(国際経済を含 む。)」	ミクロ経済学Ⅰ	2	2		
			ミクロ経済学Ⅱ	2			2
			マクロ経済学Ⅰ				
			マクロ経済学Ⅱ	2			2
			福祉コミュニティ総論				
			社会学基礎	2			2
			コミュニケーション論				
	コミュニティ論		2	2			
国際経済学	2					2	
公共経済学			2	2			
文化経済学	2	2					
社会調査			2	2			
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学	2			2	2	
	倫理学	2					
	現代社会とキリスト教Ⅰ	2	2				
	現代社会とキリスト教Ⅱ						
	心理学と心理的支援	2	2				
	社会心理学			2			
教科及び教科の指導法に関する科目にお ける複数の事項を合わせた内容に係る科 目							
各教科の指導法(情報通信技術の活用を 含む。)			社会科・公民科指導法Ⅰ	2			
			社会科・公民科指導法Ⅱ	2			

(3)外国語学科

① 中一種免(英語)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分			本学開講授業科目	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項			必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	英語学	英語学概論	2			
			英語音声学	2			
			社会言語学	2			
	英語文学	英語文学	2				
		英語コミュニケーション	英語ⅠA		2		
			英語ⅠB		1		
	英語Ⅱ			2			
	English CommunicationⅠ		2				
	English CommunicationⅡ		2				
	English GrammarⅠ						
	English GrammarⅡ						
	English ProficiencyⅠ			2			
	English ProficiencyⅡ			2			
	English ProficiencyⅢ			2			
	English ProficiencyⅣ			2			
	Creative WritingⅠ		1				
	Creative WritingⅡ		1				
	English PresentationⅠ			2			
	English PresentationⅡ			2			
	英語通訳Ⅰ		2				
	英語通訳Ⅱ			2			
	英語翻訳Ⅰ		2				
	英語翻訳Ⅱ			2			
	異文化理解	異文化間コミュニケーション論	2				
		欧米文化論		2			
		国際文化交流論		2			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	2					
	英語科教育法Ⅱ	2					
	英語科教育法Ⅲ	2					
	英語科教育法Ⅳ	2					

(3)外国語学科

② 高一種免(英語)を取得する場合の教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分			本学開講授業科目	単位数		備考
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項		必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	教 科	英語学	英語学概論	2		
			英語音声学	2		
	社会言語学		2			
	英語文学	英語文学	2			
		英語コミュニケーション	英語ⅠA		2	
	英語ⅠB			1		
	英語Ⅱ			2		
	English CommunicationⅠ		2			
	English CommunicationⅡ		2			
	English GrammarⅠ					
	English GrammarⅡ					
	English ProficiencyⅠ			2		
	English ProficiencyⅡ			2		
	English ProficiencyⅢ			2		
	English ProficiencyⅣ			2		
	Creative WritingⅠ		1			
	Creative WritingⅡ		1			
	English PresentationⅠ			2		
	English PresentationⅡ			2		
	英語通訳Ⅰ		2			
	英語通訳Ⅱ			2		
	英語翻訳Ⅰ		2			
	英語翻訳Ⅱ			2		
	異文化理解		異文化間コミュニケーション論	2		
欧米文化論			2			
国際文化交流論			2			
教科及び教科の指導法に関する科目 における複数の事項を合わせた内容に 係る科目						
各教科の指導法(情報通信技術の 活用を含む。)			英語科教育法Ⅰ	2		
			英語科教育法Ⅱ	2		
			英語科教育法Ⅲ	2		
			英語科教育法Ⅳ	2		

3. 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目、教育実践に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等			授業科目	単位数		履修方法等
科目	各科目に含めることが 必要な事項	単 位 数		必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		
			教育学		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教師論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と社会	2		
			生涯学習・社会教育論		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
			学習・発達心理学		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)					
生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		中一種免のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		
	教育の方法及び技術		教育方法学	2		「教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)」を含む
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む。
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談・カウンセリング	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		中一種免取得希望者は3科目必修。高一種免取得希望者は、「教育実習指導」と「教育実習Ⅱ」を履修すること。
			教育実習Ⅰ		2	
			教育実習Ⅱ		2	
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		

4. 大学が独自に設定する科目

4. 大学が独自に設定する科目		
免許の種類	単位数	授業科目
高等学校一種免許状(福祉)	12	教科に関する科目及び教職に関する科目における最低履修単位数を超える科目の単位数をあてる。
高等学校一種免許状(公民)		
高等学校一種免許状(英語)		
中学校一種免許状(社会)	4	
中学校一種免許状(英語)		

別表第3 授業料等の金額

1. 入学検定料・入学金 2017年度以前入学生適用

項目	金額	備考
入学検定料	30,000円	
	14,000円	大学入試センター利用入試
	20,000円	外国人入試(受験時海外居住者)
	15,000円	外国人入試(受験時日本国内居住者)
入学金	160,000円	入学時

2018年度以降入学生適用

項目	金額	備考
入学検定料	30,000円	
	14,000円	大学入試センター利用入試
	20,000円	外国人入試(受験時海外居住者)
	15,000円	外国人入試(受験時日本国内居住者)
入学金	160,000円	入学時

2. 授業料・教育充実費 2017年度以前入学生適用

項目	前期	後期	年額
授業料	325,000円	325,000円	650,000円
教育充実費	110,000円	110,000円	220,000円

2018年度以降入学生適用

		授業料	教育充実費	合計
1年次	前期	335,000円	120,000円	455,000円
	後期	335,000円	120,000円	455,000円
	年額	670,000円	240,000円	910,000円
2年次	前期	335,000円	120,000円	455,000円
	後期	335,000円	120,000円	455,000円
	年額	670,000円	240,000円	910,000円
3年次	前期	345,000円	120,000円	465,000円
	後期	345,000円	120,000円	465,000円
	年額	690,000円	240,000円	930,000円
4年次	前期	345,000円	120,000円	465,000円
	後期	345,000円	120,000円	465,000円
	年額	690,000円	240,000円	930,000円

3. 実習費・履修費

2009年度入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
インターンシップ実習費	実費	2年次又は3年次	「インターンシップ」を履修する者
造形実習費Ⅰ	3,000円	各学期のはじめ	「造形芸術Ⅰ」を履修する者
造形実習費Ⅱ	2,000円	各学期のはじめ	「造形芸術Ⅱ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	24,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅰ	21,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅰ」(事前指導)を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅱ	24,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(本実習)を履修する者

2010年度入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	実費	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
インターンシップ実習費	実費	2年次又は3年次	「インターンシップ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	24,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅰ	21,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅰ」(事前指導)を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅱ	24,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(本実習)を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者

2011年度入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
インターンシップ実習費	実費	2年次又は3年次	「インターンシップ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	24,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅰ	21,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅰ」(事前指導)を履修する者
精神保健福祉実習費Ⅱ	24,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習Ⅱ」(本実習)を履修する者
医療福祉実習指導Ⅰ履修費	5,000円	2年次前期	「医療福祉実習指導Ⅰ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅱ履修費	5,000円	2年次後期	「医療福祉実習指導Ⅱ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅲ履修費	5,000円	3年次前期	「医療福祉実習指導Ⅲ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅳ履修費	5,000円	3年次後期	「医療福祉実習指導Ⅳ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅴ履修費	5,000円	4年次前期	「医療福祉実習指導Ⅴ」を履修する者
医療福祉実習費	30,000円	4年次前期	「医療福祉実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者

2012年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
インターンシップ実習費	実費	2年次又は3年次	「インターンシップ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	24,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者

精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	11,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	24,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	30,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅰ履修費	5,000円	2年次前期	「医療福祉実習指導Ⅰ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅱ履修費	5,000円	2年次後期	「医療福祉実習指導Ⅱ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅲ履修費	5,000円	3年次前期	「医療福祉実習指導Ⅲ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅳ履修費	5,000円	3年次後期	「医療福祉実習指導Ⅳ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅴ履修費	5,000円	4年次前期	「医療福祉実習指導Ⅴ」を履修する者
医療福祉実習費	30,000円	4年次前期	「医療福祉実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者

2014年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
インターンシップ実習費	実費	2年次又は3年次	「インターンシップ」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	24,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	11,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	24,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	30,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅰ履修費	6,000円	2年次前期	「医療事務関連実習指導Ⅰ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅱ履修費	6,000円	2年次後期	「医療事務関連実習指導Ⅱ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅲ履修費	5,000円	3年次前期	「医療事務関連実習」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅳ履修費	5,000円	3年次後期	「医療福祉実習指導Ⅰ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅴ履修費	5,000円	4年次前期	「医療福祉実習指導Ⅱ」を履修する者
医療福祉実習費	30,000円	4年次前期	「医療福祉実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者

2015年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	23,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	12,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	25,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	28,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
医療事務関連実習指導Ⅰ	6,000円	2年次前期	「医療事務関連実習指導Ⅰ」を履修する者
医療事務関連実習指導Ⅱ	6,000円	2年次後期	「医療事務関連実習指導Ⅱ」を履修する者

医療事務関連実習	10,000円	2年次前期	「医療事務関連実習」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅰ	6,000円	4年次前期	「医療福祉実習指導Ⅰ」を履修する者
医療福祉実習指導Ⅱ	6,000円	4年次後期	「医療福祉実習指導Ⅱ」を履修する者
医療福祉実習費	23,000円	4年次前期	「医療福祉実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者
福祉総合演習Ⅴ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅴ」を履修する者

2017年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
基盤教育科目(1年前期)履修費	9,000円	1年次前期	基盤教育科目のうち、1年次前期配当科目(建学の精神モジュール科目及び「福祉コミュニティ総論」「コミュニティサービスラーニングⅠA」を除く)を履修する者
基盤教育科目(1年後期)履修費	9,000円	1年次後期	基盤教育科目のうち、1年次後期配当科目(建学の精神モジュール科目及び「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
基盤教育科目(2年前期)履修費	9,000円	2年次前期	基盤教育科目のうち、2年次前期配当科目(「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
基盤教育科目(2年後期)履修費	9,000円	2年次後記	基盤教育科目のうち、2年次後期配当科目(「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	23,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	12,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	25,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	28,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
医療ソーシャルワーク総合実践Ⅰ履修費	5,000円	2年次前期	「医療ソーシャルワーク総合実践Ⅰ」を履修する者
医療ソーシャルワーク総合実践Ⅱ履修費	5,000円	2年次後期	「医療ソーシャルワーク総合実践Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者
福祉総合演習Ⅴ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅴ」を履修する者

2018年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
基盤教育科目(1年前期)履修費	9,000円	1年次前期	基盤教育科目のうち、1年次前期配当科目(建学の精神モジュール科目及び「福祉コミュニティ総論」「コミュニティサービスラーニングⅠA」を除く)を履修する者
基盤教育科目(1年後期)履修費	9,000円	1年次後期	基盤教育科目のうち、1年次後期配当科目(建学の精神モジュール科目及び「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
基盤教育科目(2年前期)履修費	9,000円	2年次前期	基盤教育科目のうち、2年次前期配当科目(「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
基盤教育科目(2年後期)履修費	9,000円	2年次後記	基盤教育科目のうち、2年次後期配当科目(「コミュニティサービスラーニングⅠB」を除く)を履修する者
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	23,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	12,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	25,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	28,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者
福祉総合演習Ⅴ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅴ」を履修する者

2019年度・2020年度入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
eラーニング履修費	10,000円	1年生1期目 1年生2期目 2年生1期目 2年生2期目	3年生以降の学期で「すらら」IDを発行する授業科目を履修する場合徴収する。 1年生で主として日本語科目を履修する留学生は、2年生・3年生の各1期目・2期目に徴収。この場合、4年生以降の学期で「すらら」IDを発行する授業科目を履修する者
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
相談援助実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「相談援助実習指導Ⅰ」を履修する者
相談援助実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「相談援助実習指導Ⅱ」を履修する者
相談援助実習費	23,000円	3年次前期	「相談援助実習」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ履修費	12,000円	3年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」を履修する者
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ履修費	25,000円	4年次前期	「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」を履修する者
精神保健福祉援助実習費	実費	4年次前期	「精神保健福祉援助実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者
福祉総合演習Ⅴ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅴ」を履修する者

2021年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
eラーニング履修費	10,000円	1年生1期目 1年生2期目 2年生1期目 2年生2期目	3年生以降の学期で「すらら」IDを発行する授業科目を履修する場合徴収する。 1年生で主として日本語科目を履修する留学生は、2年生・3年生の各1期目・2期目に徴収。この場合、4年生以降の学期で「すらら」IDを発行する授業科目を履修する者
地域実習費	60,000円	1年前期	「地域実習」を履修する者
社会調査実習費	実費	3年前期	「社会調査実習」を履修する者
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ履修費	10,000円	2年次後期	「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を履修する者
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ履修費	21,000円	3年次前期	「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」を履修する者
ソーシャルワーク実習費	30,000円	3年次前期	「ソーシャルワーク実習」を履修する者
精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅰ履修費	12,000円	3年次前期	「精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を履修する者
精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅱ履修費	25,000円	4年次前期	「精神科ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」を履修する者
精神科ソーシャルワーク実習費(W受験)	実費	4年次前期	「ソーシャルワーク実習」修得後に「精神科ソーシャルワーク実習」を履修する者
精神科ソーシャルワーク実習費(W受験)	実費	4年次前期	「ソーシャルワーク実習」修得後に「精神科ソーシャルワーク実習」を履修する者
福祉総合演習Ⅰ履修費	10,000円	3年次前期	「福祉総合演習Ⅰ」を履修する者
福祉総合演習Ⅱ履修費	10,000円	3年次後期	「福祉総合演習Ⅱ」を履修する者
福祉総合演習Ⅲ履修費	10,000円	4年次前期	「福祉総合演習Ⅲ」を履修する者
福祉総合演習Ⅳ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅳ」を履修する者
福祉総合演習Ⅴ履修費	10,000円	4年次後期	「福祉総合演習Ⅴ」を履修する者

4. 教育職員免許状の所要資格を取得するための課程(教職課程) 履修費

2002年度入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
教育課程履修費	30,000円	1年次前期	教職課程を履修する者

教育実習費	30,000円	4年次前期	「教育実習Ⅱ」を履修する者
2003年度以降入学生適用			
項目	金額	納入時期	備考
教育課程履修費	10,000円	1年次前期	教職課程を履修する者
教育実習費(高一免)	40,000円	4年次前期	(2003・2004年度入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者で、高等学校教諭一種免許状のみの取得を望む者 (2005年度以降入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者
教育実習費(中一免)	50,000円	4年次前期	(2003・2004年度入学生)「教育実習Ⅱ」を履修する者で、中学校教諭一種免許状の取得を望む者 (2005年度以降入学生)「教育実習Ⅰ」を履修する者

2020年度以降入学生適用

項目	金額	納入時期	備考
教育課程履修費	10,000円	1年次前期	教職課程を履修する者
教育実習費(中一免)	50,000円	4年次前期	「教育実習Ⅰ」を履修する者
教育実習費(高一免)	40,000円	4年次前期	「教育実習Ⅱ」を履修する者
特別支援教育実習費	40,000円	4年次前期	「特別支援教育実習」を履修する者

5. 科目等履修生 履修費

項目	金額	納入時期	備考
検定料	10,000円	各学期のはじめ	
登録料	年度につき5,000円	各学期のはじめ	
履修料	1科目12,000円	各学期のはじめ	半期4単位の科目及び通年の履修料は24,000円

6. 研究生学納金

項目	前期	後期	年額
入学金	50,000円	—	50,000円
授業料	65,000円	65,000円	130,000円

7. 預かり金

項目	前期	後期	年額	備考
同窓会費	3,600円	—	3,600円	
後援会費	10,000円	10,000円	20,000円	
学友会費	10,000円	—	10,000円	
アルバム代	18,000円	—	18,000円	4年次生のみ

8. 手数料等

項目	金額	納入時期
休学手数料	各学期につき5,000円	休学が開始される月のはじめ
復籍手数料	15,000円	復籍を願い出る時